

おはなし会のよてい

新型ウイルス感染症対策を実施しておはなし会を開催します。

- ・おはなし会のはじまる10分くらい前から、「参加票」をかいてもらいます。
- ・6組ほど参加できます。(先着順)
- ・となりの人と、はなれてすわりましょう。
- ・2さい以上の方は、マスクをおねがいます。
- ・状況によっては、おはなし会を中止することがあります。
そのときは、ホームページでお知らせします。



2月のおはなし会

ひづけ	じかん	おはなしかい
2/26(土)	14:30~15:30	わくわくかみしばい会

わくわくかみしばい会

2月26日(毎月だい4土よう日)

14:30~15:30

『まねっこござる』

『むかしむかしのひなあられ』

『おやゆびトム』

いろいろなかみしばいをじょうえんします。

出演：まいまい塾 ネットワーキング

3月のよてい 3月26日(土)

だれでも無料で、
じゆうにさんか
できます。きてね!



お休みするおはなし会

こうさぎおはなし会

2月8日(火)はお休みします。

赤ちゃんから5才くらいまでの子どもと、
保護者のためのおはなし会です。

出演：おはなし紡ぎの会

3月のよてい 3月1日(火)

「おはなし紡ぎの会」によるおはなし会

2月はお休みします。

◎こうさぎおはなし会

(赤ちゃんから5才くらいまでむけ)

◎おひさまおはなし会(4才以上むけ)

出演：おはなし紡ぎの会

3月のよてい 3月19日(土)

としょかん

図書館にきてくれるみなさんへ

けんりつ としょかん

県立図書館のあいている日と時間

火ようび～金ようび ごぜん9時 から ごご7時 まで

土・日・しゆくじつ ごぜん9時 から ごご5時 まで

毎しゅう月ようびが、お休みです。

● 2月11日（金・建国けんこくきねんの日）、2月23日（水・天皇てんのうたんじょう日）は、
ごぜん9時から ごご5時まで あいています。

今月の本「冬のスポーツと中国を知ろう！」

2月4日から20日まで、中国の北京で冬季オリンピックが行われます。
世界中の選手が集まる、冬のスポーツのお祭りです。中国ってどんな国なのかも知り
たいですね。

今月は、冬のスポーツや中国について分かる本、冬のスポーツが出てくるおはなし
の本、中国の人が書いたおはなしの本などをしょうかいします。

● 『冬のスポーツを楽しむ本1、2』日本オリンピック・アカデミー／監修、

国土社編集部／編集 国土社（780/K40/2-1～2）

● 『高木菜那・美帆 ともに頂点へ』林直史／著 汐文社（780/T33）

● 『おさるのジョージスキーをする』マーガレット・レイ／原作、

H. A. レイ／原作、渡辺茂男／訳、福本友美子／訳

岩波書店（J/R2/39）

● 『子どもに語る中国の昔話』

松瀬七織／訳、湯沢朱実／再話 こぐま社（920/Y6）

児童資料コーナー入り口近くの本だなおいています。

どの本も、かりることができます。ぜひ読んでみてください。

* 3ページまでは、小学3年生から習う漢字にルビ（ふりがな）をつけています。

* 「こどものひろば」は、県立図書館のホームページでも見るができます。

URL : <http://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>



子どもと本を楽しむ大人のみなさんへ



●ミニ展示「読んで！作って！お菓子の本」●



バレンタインデー、ホワイトデーに合わせ、児童資料コーナーでお菓子の本を紹介するミニ展示をしています。

火や刃物を使わないで作れるお菓子の本から、ちょっぴりむずかしいレシピまで、いろいろなお菓子作りの本を紹介します。

お菓子の出てくるおはなしの本もあるので、読んで、作って、プレゼントして、バレンタインデー、ホワイトデーを楽しんでくださいね！

期間：2月1日（火）～3月13日（日）

場所：児童資料コーナー 入口近くのブックトラック

どの本もかりることができます。



●エレベーターの工事をしています●

令和4年2月17日（木）まで、中央エレベーターの工事をしています。

皆様には、騒音などでご迷惑おかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

今月のコラム「ストーリーテリング入門」

先日、ストーリーテリング（本を使わずにおはなしを覚えて語ること）を基礎から学ぶ講座を開催しました。講師の小林いづみさん（安田女子大学非常勤講師）が語るおはなし「ついでにペロリ」を楽しんだ後、ストーリーテリングの意義やおはなしの選び方、覚え方、語り方について伺いました。

いくつか要点を挙げると、「おはなしを聞くのはとても楽しいもので、耳から聞くことで本への興味や想像力が育つこと。」「最初はストーリーテリング向けのよいテキストから、自分が好きなおはなしを選んでそのままきちんと覚えること。」「声をしっかり出し、心を込めて素直に、聞き手を見て語ること。」「

私が特に心に残ったのは、ストーリーテリングは一つでも覚えていれば大きな財産になるというお話でした。身一つでいつでもどこでもでき、子どもが楽しむお話をまると覚えることで、言葉のセンスやリズム感が身に付く。そして、何度も子どもに語ることで本当に自分のものになるとお聞きして、私も子どもたちに語る意欲がわきました。

次回の講座では、実際に受講者がおはなしを発表することになっています。どんなおはなしが聞けるのか楽しみです。（H）

